

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

管理コード	016	事業名	青少年交流洋上体験研修事業	分野	3	教育・学習	課名	生涯学習課
施策コード	3231			基本施策	2	学びあい・教えあいのなかまづくり	班名	生涯学習班
評価区分				大施策	3	青少年の健全育成		
ローリング				小施策	1	地域ぐるみでの青少年の育成活動		

◆事業の説明 (単位:千円)

事業の概要	1市4町1村(秦野・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村)のを対象に望星丸に乗船し清水港から新島に向かう航路の中で船上での集団生活を体験する。	会計	1	款項目	9	5	1	細目	青少年活動費
			H28決算額		H29決算見込		H30事業費		H31事業費
捕捉説明	参加費一人18,000円	直接事業費		342				388	
根拠法		人件費							
計画等	第3次中井町生涯学習基本計画	事業費合計		342				388	
		国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源		342				388	

◆事業の対象・活動・成果

対象(誰・何に)	1市4町1村(秦野・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村)の中学生	対象	指標	単位	H28実績	H29見込	H30計画	H31計画	H32計画
活動(何を)	船上で2泊3日の集団生活を体験する中で、海洋観察、星空観察や新島散策を行う。	活動	参加者	人	7	6	10	10	10
成果(めざす形)	市町村の枠を越え、他市町村の児童・生徒との集団生活を通じて交流と連携を深め自主性や協調性を養う。	成果							

◆事業の現況評価

必要性	ニーズ、事業の必要性は薄らいでいませんか？ [4点] 依然としてニーズが高い	適切性	事業の手段(やり方)は適切なものとなっていますか？ [4点] 現在のやり方(手段)が一般的であり特に問題はない	評価内容の説明	アンケートの結果からも普段なかなか体験できない内容ということでニーズは高いと考える。また、他市町村との交流という面からも有意義な事業になっていると考える。
妥当性	行政が関与しなければならない事業ですか？ [5点] 行政以外にはできない事業である	有効性	事業の目的(成果)は達成されていますか？ [4点] おおむね目標水準に達している		
公平性	受益者に偏りはありませんか？ [4点] 目的とした対象者に対しては概ね広く便益を提供している	効率性	コスト効率、人員効率は高まっていますか？ [3点] どちらも言えない		
				事務事業の実施状況	秦野市が中心となって進め、各市町村で参加者の募集を行い当日は行政職員は運営担当、教職員が指導担当として同行して指導する。

◆事業の改善改革・今後の方針

改善改革の提案	新島に向かえなかった場合のプランも充実した内容となるようなプランの検討が必要だと考える。また船の中での活動となるので難しい所もあるが複数回参加してもらえるよう内容に新しさを持った事業の展開を検討すべきだと考える。	主管課方針	広域で行っている事業でありニーズも高いことから継続して行っていく。		
課題	参加者が募集人数に満たない人数しか集まらない場合町が負担している点があるのでより魅力の伝わる募集方法等の工夫が必要。	主管課長名	早野 堅一	短期方針	現状維持
		決定権者	諸坂 佐利	短期方針	継続(改善・効率化)

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

管理コード	017	事業名	1市4町1村青少年交流キャンプ事業	分野	3	教育・学習	課名	生涯学習課
施策コード	3231			基本施策	2	学びあい・教えあいのなかまづくり	班名	生涯学習班
評価区分				大施策	3	青少年の健全育成		
ローリング				小施策	1	地域ぐるみでの青少年の育成活動		

◆事業の説明 (単位:千円)

事業の概要	1市4町1村(秦野市・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村)の小学生を対象にキャンプを行う。	会計	1	款項目	9	5	1	細目	青少年活動費		
			H28決算額		H29決算見込		H30事業費		H31事業費		H32事業費
		直接事業費	10		10						
		人件費									
		事業費合計	10		10						
捕捉説明		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債									
		その他									
根拠法											
計画等	第3次中井町生涯学習基本計画	一般財源	10		10						

◆事業の対象・活動・成果

対象(誰・何に)	1市4町1村(秦野市・中井町・大井町・松田町・二宮町・清川村)の小学生4・5・6年生	対象	指標	単位	H28実績	H29見込	H30計画	H31計画	H32計画
			参加者	人	4	12	12	12	12
活動(何を)	秦野市の野外センターを中心に1泊2日のキャンプを行い、その中で各町村が持ち回りでレクリエーションを行う。	活動							
成果(めざす形)	他市町村の小中学生と交流を深め自主性、協調性を養う。	成果							

◆事業の現況評価

必要性	ニーズ、事業の必要性は薄らいでいませんか？	適切性	事業の手段(やり方)は適切なものとなっていますか？	評価内容の説明	各町村がレクリエーションを持ち回りで担当することでそれぞれの市町村の特色を生かした内容で毎回参加しても新しい体験ができ充実した事業となっている。また、他市町村との交流という面からも有意義なものだと考える。
	[3点] どちらとも言えない		[4点] 現在のやり方(手段)が一般的であり特に問題はない		
	妥当性		行政が関与しなければならない事業ですか？		
[5点] 行政以外にはできない事業である	有効性	事業の目的(成果)は達成されていますか？			
公平性	受益者に偏りはありませんか？	[4点] おおむね目標水準に達している			
[4点] 目的とした対象者に対しては概ね広く便益を提供している	効率性	コスト効率、人員効率は高まっていますか？	[3点] どちらとも言えない		

◆事業の改善改革・今後の方針

改善改革の提案	定員まで集まらないという状況がある中で対象の拡大等も視野に入れながら事業の展開を行っていくべきだと考える。	主管課方針	広域で行っている事業であり他市町村とも調整を密にしながら継続して行っていく。		
		主管課長名	早野 堅一	短期方針	現状維持
課題	参加者が定員ほど集まらない場合より魅力的な内容となるようレクリエーションや募集方法を工夫する必要がある。	決定権者	諸坂 佐利	短期方針	継続(改善・効率化)